

第45回熱シンポジウム

バイオフィマティックデザインの視点から地域・都市・建築の環境を考える

主催 : 日本建築学会 環境工学委員会 熱環境運営委員会
後援 : 熊本県、熊本県立大学、熊本国際観光コンベンション協会
日程 : 2015年10月31日(土) 13:00~18:00、11月1日(日) 9:00~16:30
懇親会 10月31日(土) 19:00~20:30 (熊本テルサ/シンポジウム会場からタクシーで約10分)
特別企画 11月2日(月)「熊本県内BD建築」: 和水町立三加和小中学校 他
会場 : 熊本県立大学 大ホール (熊本市東区月出3丁目1番100号)

3.11 東日本大震災の直後に「設計のための建築環境学(日本建築学会編)」を刊行し、2011年秋に札幌で開催した第41回熱シンポジウムでは、「みつける・つくる」の視点からバイオフィマティックデザインを再定義するとともに、その意義を議論した。さらに、環境建築を「つかう」ためには建築教育や住まい方の支援が不可欠であることを確認した。今回は、バイオフィマティックデザインの観点から、建築環境、さらには都市、地域環境をも俯瞰し、これからの地域・都市・建築の環境計画設計に必要とされるデザイン手法や性能評価・検証の方法を共有する場にした。

プログラム

【1日目: 10/31(土)】12:30 開場、13:00 開始

- 開会挨拶・趣旨説明 司会: 辻原 万規彦 (熊本県立大学)
開会挨拶 古賀 実 (熊本県立大学 学長)、尾崎 明仁 (九州大学/熱環境運営委員会主査)
趣旨説明 斉藤 雅也 (札幌市立大学/バイオフィマティックデザイン小委員会主査)
- セッション1: 13:10-14:40「問題提起: バイオフィマティックデザインの現在と展開」 司会: 斉藤 雅也 (前掲)
中村 泰人 (京大名誉教授/熊本県立大学名誉教授): バイオフィマティックデザインの研究課題ー人間と気候とのかかわり
渡辺 俊行 (九州大名誉教授): 「ウチの流れ」について
宿谷 昌則 (東京都市大): 再考ー環境の入れ子構造と建築計画原論
長谷川 兼一 (秋田県立大): みつける・つくるバイオフィマティックデザインのこれから
- セッション2: 14:50-16:20「熊本からバイオフィマティックデザインを考える」 司会: 高田 真人 (熊本大)
藁茂 寿太郎 (熊本県立大・客員教授/熊本市都市政策研究所・所長): 熊本の自然と環境共生建築の視座
吉村 英一 (熊本県立大 食健康科学科・講師): 熊本からバイオフィマティックデザインを考えるー熊本の食を読み解くー
辻原 万規彦 (熊本県立大): 熊本での身近な地熱利用
古川 保 (すまい塾古川設計室・代表): ほどほどがよい熊本における住宅の温熱デザイン
- セッション3: 16:30-18:00「住教育・設計教育・実務家向け教育」 司会: 宇野 朋子 (武庫川女子大)
廣谷 純子 (みつデザイン研究所)・小田桐 直子 (佐藤エネルギーリサーチ): バイオフィマティック建築運用のための教育
田中 稲子 (横浜国立大) 小中学校における住環境教育
高田 真人 (前掲): 建築学科の学生を対象とした建築環境設計の授業プログラムの開発
金子 尚志 (エステック計画研究所): 設計のための建築環境学

【2日目: 11/1(日)】8:30 開場、9:00 開始

- セッション4: 9:00-10:30「環境適応モデルの現状と課題」 司会: 中谷 岳史 (岐阜工業高等専門学校)
田辺 新一 (早稲田大): 適応モデルの最新動向ー多様性をどのように考慮するのかー
リジャル H.B. (東京都市大): 住宅における適応モデルの提案
中谷 岳史 (前掲): 住宅温熱調査による居住者適応の実態
久保田 徹 (広島大): 高温多湿気候下の自然換気建物に用いるための適応モデルの開発
- セッション5: 10:40-12:10「建築空間にみる環境への適応事例」 司会: リジャル H.B. (前掲)
太田 勇 (ミサワホーム総合研究所): 夏季の環境適応に主眼を置いた街づくり事例
中野 淳太 (東海大): 利用者の温熱環境適応を考慮した駅構内温熱環境の改善
斉藤 雅也 (前掲): 人の想像温度と温熱環境適応
宇野 朋子 (前掲): 高温多湿気候下の住宅における空調時の熱環境と温熱感覚ー一人々が選択する室温に関する実態調査ー
- 昼食休憩: 12:10-13:10
- セッション6: 13:10-14:40「地域の自然を読む解くバイオフィマティックデザインの事例」 司会: 廣谷 純子 (前掲)
末光 弘和 (SUEP): 環境シミュレーションを使った建築デザイン
野沢 正光 (野沢正光建築工房): 木造建築の熱環境について
堀川 晋 (日建設計): 外と内の環境と建築
山崎 慶太 (竹中工務店技術研究所): 林業から住宅・バイオマスを利用した地域熱供給の事例紹介
- セッション7: 14:50-16:20「討論: バイオフィマティックデザインの再々定義、課題」 ファシリテーター: 斉藤 雅也 (前掲)
パネリスト: 小玉 祐一郎 (神戸芸術工科大学)、宿谷 昌則 (前掲)、長谷川 兼一 (前掲)、中谷 岳史 (前掲)
堀川 晋 (前掲)、末光 弘和 (前掲)
- 【話題提供 小玉 祐一郎 (前掲): パッシブデザインの現在ー地域・身体・建築ー】
総括 (まとめ): 16:20-16:30 石原 修 (住環境計画研究所客員研究員/熊本大名誉教授)

参加費 会員5,000円、会員外7,000円、学生2,000円 (資料代含む、当日会場でお支払い下さい)

定員 120名 (申し込み先着順)

★懇親会 (7000円 (学生3000円))・特別企画 (1000円程度) の参加費が別途かかります

申し込み方法 Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1206> よりお申し込みください。

申込方法/問合せ 日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬 E-mail: ichinose@aij.or.jp TEL: 03-3456-2051

※懇親会、特別企画(ツアー)の申し込み方法・参加費等の詳細はシンポジウム申し込み者に別途ご案内します。